

# 未来づくり懇談会（後岡）会議録

日 時：平成29年10月17日（火）

18：30～19：59

場 所：後岡自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策部長、

1 開 会 18：30 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○持続可能な片岡地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口・高齢化率推移等を説明

Q1 先日TVで人口減少のことが放送されていた。人口が減ると公共施設の運営もできなくなるなど、恐ろしいことになると思った。

A1 今までと同じでは公共施設を維持できなくなるので、現在、公共施設再配置計画を作成している。今年3月には公共施設総合管理計画を策定した。30年かけて延べ床面積で40%削減していく目標を掲げた。公共施設再配置計画では具体的に何を削減するのかを作成している。矢板市は、市営住宅の管理戸数が県内で1番多い。また小中学校の数も他市町に比べると多いので、皆さんの意見を聞きながら統廃合も進めなければならない。

平成30年3月 矢板市公共施設再配置策定計画を策定

平成30年6月 矢板市立小中学校適正配置検討委員会を設置

5 意見交換

Q1 矢板市に待機児童はいないのか。

A1 待機児童はいない。

Q2 宇都宮では、図書館の管理や子供の施設などの管理を高齢者が行っていると聞いた。人材を有効に使えばコストも削減できるのではないか。

A2 具体的には、習い事の送迎や夜間の預かりなど、ファミリーサポートセンターを実施している。シルバー人材センターは周辺市町に比べて元気に活動している。

◆ファミリーサポートセンター活動実績（H30年3月末現在）

依頼会員：170人

提供会員：100人  
両方会員：28人  
合計：298人  
活動件数（学校の放課後の迎え、預かり等）合計：209件

Q3 タクシー券を他市町では金券で交付しているところもある。ここからだとは初乗り運賃だけでは個人負担が発生するため、タクシー券が十分に活用されていないと感じる。金券に切り替えてはどうか。

A3 使い勝手を良くするため、1回でタクシー券が2枚使えるように変えているが、おつりが出ないので、もったいないとの声もある。使い勝手の課題だと思うので、検討したいと思う。

平成30年4月 福祉タクシー券交付事業の見直し  
85歳以上 → 80歳以上 ※年齢引き下げ  
月2枚（最大24枚） → 年24枚  
市外タクシー業者との協定実施

Q4 昨年、前岡、後岡の行政区長の連名で市営バスの運行要望をしているが、ダイヤ改正の目安はいつか。

A4 市営バス無料乗車の実証試験を10月から平成30年3月31日までとしている。1月にアンケート実施を考えているので、ダイヤ改正については分析後となる。

平成28年5月 地域公共交通会議開催。  
平成28年6月 ダイヤ改正実施。  
平成30年4月 巡回ルート等の検討。  
平成30年度 前岡、後岡地区への乗入れの可能性について検討。

Q5 税収の推移や企業進出の話など、まちづくりをするためには働く場所がないと若い人が定着しないと思っている。それが根本的な原因ではないかと思うが。

A5 税収については、前年度比で少し増加しているが、中長期的には人口減少とともに減少すると思う。働く場所については指摘のとおり人口増加には必要となる。

矢板は仕事が無いと言われるが、ハローワークに聞くと景気が良くなってきているので有効求人倍率も上がってきている。逆に企業からは、人が採用できるか聞かれることがある。

平成28年12月 矢板市企業紹介冊子作成  
矢板市企業研究セミナー開催  
平成29年2月 やいたUターン意見交換会開催  
平成29年11月 矢板市企業紹介冊子作成  
作新祭出展  
平成30年2月 保護者向けセミナー開催  
平成28年度 高野商運、東色ピグメントの進出決定

Q 6 子育て支援についてはどうか。

A 6 こども医療の充実や病児・病後児保育の研究を始めたところ。子育て環境日本一は難しいが、周辺の市町に負けない子育て、教育環境は整備していきたいと思う。

学校教育については、片岡では小中連携を行い、教員の交流などで学力向上を図る取り組みをしている。片岡小学校では今年度から英語教育に力を入れており、国の研究校に指定されている。魅力ある学校教育を進めていきたいと思う。

◆病児・病後児保育について

病児保育施設	おはな保育園(宇都宮市)	連携協定	平成 27 年度～
	金丸こども園(大田原市)	連携協定	平成 29 年度～
病後児保育施設	びっころ保育園(矢板市)	平成 19 年度	開設
	金丸こども園(大田原市)	連携協定	平成 29 年度～
	こぼと保育園(高根沢町)	連携協定	平成 27 年度～

◆学校教育について

平成 29 年度	家庭学習ノートコンテストを実施。 塾等との連携による学習教室の実施。 各学校では、授業改善に向けての研究等行っていく。 学力向上応援団・道徳教育応援チーム・学力向上推進リーダー事業を通して国語・算数・数学・道徳の授業改善、指導力の向上を図っている。
平成 29 年 12 月	英語科 DVD を作成し、市内全小学校に配付
平成 30 年度	学力向上応援団事業の継続。 学力向上推進リーダーを 1 名から 2 名に増員。 リーダー配置校を増加。 英語科 DVD (第 2 弾) を作成予定。 外国語活動の専科教員を小学校 4 校に配置。

Q 7 いじめはあるのか。隠されて出てこないとか。

A 7 いじめはゼロではない。自殺につながるような大きいじめは聞いていない。

難しいのはメールやラインを使いたいじめは見つからない。

スマホ等の使用時間制限やライン等の使い方に注意を促している。また、人権講話や道徳の授業の中で人権教育をしている。

- ・ ノーメディアチャレンジシートの活用 (年 3 回)
- ・ SNS 使用に関する冊子の配付

Q 8 スマホや携帯は学校に持って行っていいのか。

A 8 学校には持ってきてはいけない。自宅にあり、ラインなどをしているとは聞いている。自宅のことは見えないので、地域社会でも見守ってほしい。

Q 9 市道前岡 1 号線の測量が終了したと聞いた。工事の予定はいつごろか？

A 9 本年度 1 1 月には用地の取得としたいと考えている。工事は、来年度着工で計画しているが予算の状況による。

平成 29 年度	用地補償契約
平成 30 年度	踏切東側の道路改良工事に着手予定。

Q 10 農道整備に関する要望を昨年提出した。公民館から東に向かう農道と途中から南に下がる農道で 8 4 0 m。市単費では難しいのは承知しているが、計画を立てて進めてほしい。

A 10 農道整備の要望については、国庫補助の基盤整備促進事業に申請したが不採択。県単補助などの別のメニューを探して、来年度以降、少しずつでも実施できるよう調整したいと考えている。

平成 30 年度	県単農道整備事業で実施予定。
----------	----------------

Q 11 防犯灯を平成 2 6 年度に 1 0 基、平成 2 7 年度に 4 基、平成 2 8 年度に 4 基、平成 2 9 年度に 2 基を設置してもらった。電気代の補助を維持していただきたい。

A 11 暮らし安全環境課に問い合わせしてほしい。他からも要望は出ている。

電気代の補助は今後も継続予定。
-----------------

Q 12 後岡 2 号線、後岡 4 号線で木が大きくなって大変な状況になっているので、県道の凍結防止のための樹木伐採のような制度を検討してほしい。

A 12 市道であれば相談してほしい。県で行っている伐採については研究したい。

Q 13 現在、内川のしゅん設工事をしている。その砕石を安沢の施設に持って行っている。大型車が通過するので危険な状態。また道路も傷んでいるので、終了後に道路の補修や点検をしてほしい。

A 13 工事用車両の安全通行には、塩谷広域行政組合に連絡する。道路については点検をして、塩谷広域行政組合と連携したいと思う。

Q 14 将来的に焼却施設が完成すると、収集車の通行が多くなると思う。また国道 4 号のボックスカルバートが狭く、4 車線化された際にもめ事が心配になる。

A 14 国道 4 号のボックスカルバートについては、前岡、梶ヶ沢でも同様に話があるので、地域の問題として国道事務所に伝えていく。

境林・後岡 1 号線については、塩谷広域組合の次期環境施設ができると収集車の通行量も増えると思うので、働きかける。

Q 15 安沢、越畑、梶ヶ沢に太陽光パネルをつけると聞いた。どういう経緯か教えてほしい。

A 15 次期環境施設の整備にあたり、計画地からの影響範囲に該当する行政区には、塩谷広域行政組合から地域還元すると聞いている。梶ヶ沢の公民館建設には市からも

も補助を出す。

Q16 崖下のところは、雪が降ると凍結するので、安全対策を十分にしてほしい。

A16 道路の件に関しては、建設課で要望や請願、陳情などを整理し、優先順位をつけるように進めている。

Q17 防災無線が聞こえない。

A17 防災無線は聞こえないという一方、うるさいとの話がある。音声電話サービスやメール配信サービスを活用してほしい。年明けに、くらし安全環境課で聞こえにくさ調査を全域で調査する。

平成 29 年 5 月	防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布
平成 29 年 6 月	防災メール登録及び防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布。
平成 29 年 11 月	防災行政無線放送確認するためのフリーダイヤル（通話料無料）電話番号のチラシを全戸配布。
平成 30 年 1 月	防災行政無線の聞こえ方調査を実施